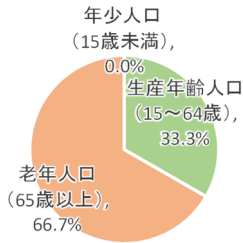


宮脇 (みやわき)

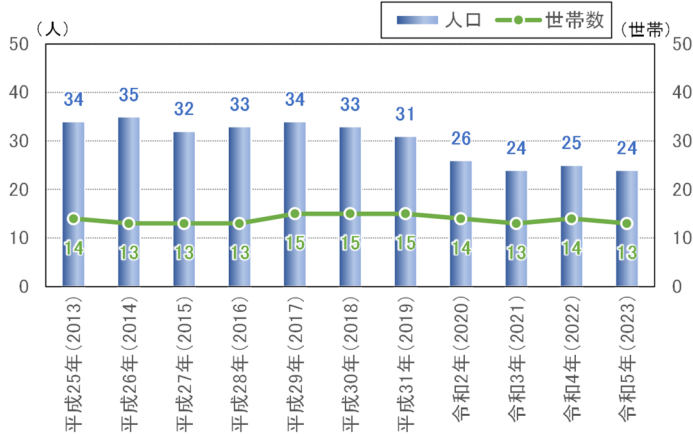
人口・世帯数等 (令和5年4月)

人口	24人
世帯数	13世帯
高齢化率	66.7%

年齢別人口割合



人口・世帯数の推移 (過去10年間)



区域の概要

立地 集落は、北流する岸田川の右岸に家屋が密集する。南北にわずかに田畑が開ける以外は山が迫る。
地名由来 式内社の須賀神社の傍らの村であることによると思われる。かつては「海尻村」と称し、永徳3年(1383)の穂積文書には「海尻村」とあるが、文明3年(1471)の八太領家分米銭納帳には「みやのわき」とあり、この間に村の名を変えたと考えられる。

歴史等 近世の宮脇村は、天正11年(1853)因幡国鳥取城主宮部氏領、慶長6年(1601)同国若桜藩領、慶長10年(1605)旗本宮城氏知行、寛永20年(1643)幕府領、寛文8年(1668)豊岡藩領、享保11年(1726)幕府領、文化3年(1806)からは豊岡藩領となった。天保5年(1834)の『但馬国郷帳』(天保郷帳)の村高は62石余。特産物は但馬牛。

明治22年(1889)八田村の大字となり、昭和29年(1954)からは温泉町の大字となる。明治24年(1891)の戸数16、人口は男36・女41。

これまで把握している文化財

文化財の件数 14件 (うち指定等文化財 0件)

大分類	中分類	小分類	把握件数	指定等	
有形文化財	建造物	建築物	0	0	
		石造物	0	0	
		工作物・その他の構造物	1	0	
	美術工芸品	彫刻	3	5	0
		絵画	0	0	0
		工芸品	1	0	0
		書跡・典籍	0	0	0
無形文化財	古文書・歴史資料・考古資料	0	0	0	
	音楽	0	0	0	
	演劇	0	0	0	
	工芸技術	0	0	0	
	その他の無形文化財	0	0	0	
民俗文化財	有形の民俗文化財	信仰の場	3	5	0
		祭具	0	0	0
		民具	0	0	0
	無形の民俗文化財	その他の有形の民俗文化財	0	0	0
		年中行事・民俗芸能	1	0	0
		民俗技術	0	0	0
記念物	遺跡	食文化	0	0	0
		民間説話・俗信	1	0	0
		その他の無形の民俗文化財	0	0	0
		散布地・集落跡・生産遺跡	2	3	0
		古墳・その他の墓	0	0	0
	名勝地	城館跡・寺社跡	1	0	0
		街道・古道等	0	0	0
		戦争遺跡	0	0	0
		その他の遺跡	0	0	0
		山岳・高原・丘陵	0	4	0
動物・植物・地質鉱物	海岸・海浜・島嶼	0	0	0	
	河川・瀧・渓谷・湖沼	0	0	0	
	公園・庭園	0	0	0	
動物・植物・地質鉱物	動物	0	1	0	
	植物	1	0	0	
文化的景観	動物	0	0	0	
	地質鉱物	0	0	0	
伝統的建造物群	生活・生業・風土により形成された景観地	0	0	0	
	宿場町・城下町・農漁村等	0	0	0	



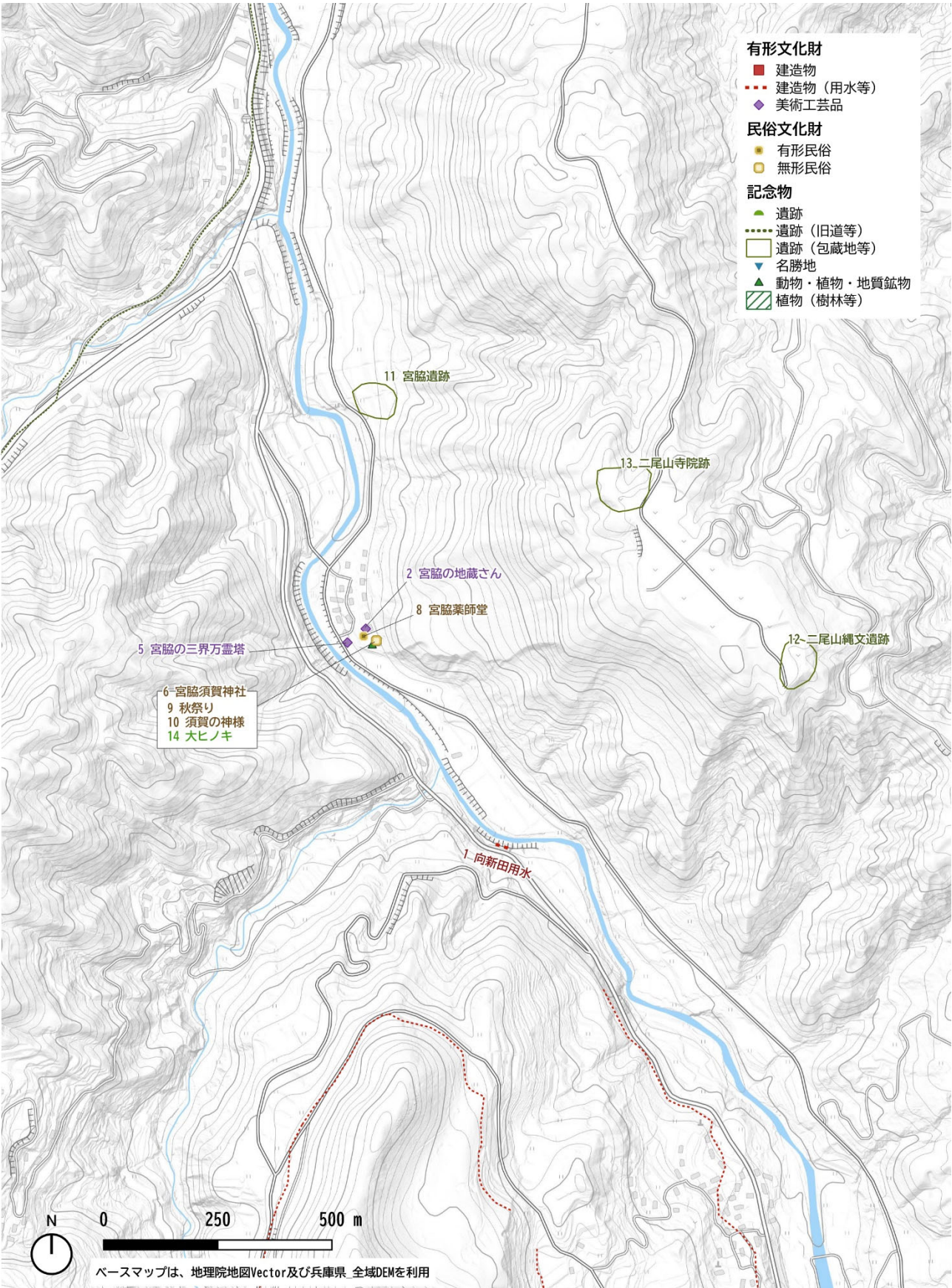
宮脇須賀神社・大ヒノキ



宮脇須賀神社秋祭り

※人口・世帯数は住民基本台帳(令和5年4月現在)による。

文化財の分布



※所在地の掲載可能なものに限る

6-05 宮脇

文化財の一覧

■ 有形文化財／建造物

分類	番号	名称	概要
工作物・ その他の 構造物	1	向新田用水	近世に築造された水路。水路延長 3,000m、灌漑面積 8.00ha。取入口は内山字女夫木 139、排水口は岸田川。

■ 有形文化財／美術工芸品

分類	番号	名称	概要
彫刻	2	宮脇の地藏さん	村のかみの墓地に立つ。道路拡張の際に冤罪地に移動したものである。台座が移動の際に前後反対になっているものの、外形の崩れはなく、保存良好である。台座碑銘は「世話人 利兵衛 施主 当村上村甚左エ門 万人講 同穂積次郎四郎 文化三年七月日」。
	3	宮脇の寄木造木像	29×35cm の木像。堂の中に立像とともに祀られている。上段の高い所にあり、格子の戸がある。両手がなく、塗りが落ちている。寄木であるため腰から離れている。年代は不明。杉製。
	4	宮脇の薬師如来像	37.5×25cm の木像。堂の中に祀られている。台座と厨子が少し破損しているが、全体的に良好に保存されている。供養札には平安時代の名工恵心僧都の作とある。舟形光背は後世の修補である。「延享元申子歳奉造立恵心僧都作宮脇村中建立之霜月十七日開眼正楽寺現在寛法印」
工芸品	5	宮脇の三界万霊塔	右岸道路から村内に入る道路脇に立つ。道路改修時に台座を修理している。碑銘は、正面に「三界万霊塔」、裏面に「為併 文政七申年七月日 願主世話人 平吉 同 上村甚左エ門」。

■ 民俗文化財／有形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
信仰の場	6	宮脇須賀神社	祭神は道中貴命。郡内五社のうちの一ノ宮ともいわれる。創立は永久 2 年（1114）と伝わるが、貞観 10 年（868）12 月に但馬国正六位上菅神從五位下さる云々とあり、貞観以前の神社創立とも考えられる。延喜式では制小社に列し、鎌倉時代には神田 6 町 280 歩を有したとされる。近代社格は村社。
	7	宮脇熊野神社	近代社格は無格社。
	8	宮脇薬師堂	概要不明

■ 民俗文化財／無形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
年中行事・ 民俗芸能	9	宮脇須賀神社秋祭り	9 月 18 日（宵宮）・19 日に行われる。行事の中心は祭りの夜宮で、前日の午後 7 時と当日の早朝 6 時に神主さんが来られ、神事を行い、一年間の豊作と無病息災を祈願する。
民間説話・ 俗信	10	須賀の神様	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和 59 年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p67 参照

■ 記念物／遺跡

分類	番号	名称	概要
散布地・ 集落跡・ 生産遺跡等	11	宮脇遺跡	水田内及び農道に土器が散布している。時代は不明。
	12	二尾山縄文遺跡	縄文時代の散布地。縄文時代早期の表裏楕円文を検出。
城館跡・ 寺社跡	13	二尾山寺院跡	中世の寺院跡。二尾山頂上の平坦地に削平地 3 ヲ所がある。

■ 記念物／動物・植物・地質鉱物

分類	番号	名称	概要
植物	14	須賀神社の大ヒノキ	ヒノキ1本。兵庫県では数少ないヒノキの巨木であるが、地上約3mの所より枝分かれした側幹2本がとり除かれていて、主幹のみが社を見守るようにそびえ立っている。 県指定郷土記念物